

1. 評価結果概要表

作成日 2007年11月2日

【評価実施概要】

事業所番号	1270300534
法人名	株式会社メデカジャパン
事業所名	いなげケアセンターそよ風
所在地	千葉県千葉市稲毛区穴川3-6-12 (電話) 043-207-6911

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成19年11月2日	評価確定日	平成20年1月8日

【情報提供票より】(19年10月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年3月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤	20人, 非常勤1人, 常勤換算6.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り
	4階建ての 3階 ~ 4階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,000円	その他	食42,000 + 水光熱15,000 + 管理費8,000 + 実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円)	有りの場合 償却の有無	有(期間:2年間の均等償却)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,400 円			

(4) 利用者の概要(10月18日現在)

利用者人数	27 名	男性	6 名	女性	21 名
要介護1	5 名	要介護2	8 名		
要介護3	9 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	71 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	稲毛病院 デンタルサポート
---------	---------------

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

稲毛区役所、消防署から徒歩圏内に位置し、穴川神社に隣接するホームである。4階建ての3階に1ユニット、4階に2ユニットあり、デイサービスやショートステイも併設されている。ベランダやダイニングなどの共有スペースが広く、入居者はゆったりと落ち着いた日々を過ごしている。壁には、入居者が1年がかりで作った作品が飾られ、清潔で家庭的な温もりが感じられる。“笑顔”を共通テーマに、各ユニットがそれぞれ独自の理念を持ち、入居者の個性を大切にしたケアに努めている。各種行事への家族の参加も多く、ホームへの信頼がうかがえる。法人は県内に複数の事業所を持ち、合同の勉強会等を開催するなど、交流を図っている。開設4年目となり、地域との交流も深まってきた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善項目は運営推進会議の議題とし、検討してきた。車椅子のベルト着用を外すところ、転倒骨折事故が発生し、家族の要望もあり現在は着用している。エレベーターの暗証番号は、道路事情やショートステイとの関連、家族の要望もあり使用を続けている。ベランダの鍵は外した。市町村との関係は、地域包括センターの職員が運営推進会議に加わり、連携を図っている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ミーティング時に自己評価用紙を配布、説明したが、話し合いの時間は持たれなかった。作成後の自己評価表は、回覧している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	民生委員、自治会長、市介護相談員、ホーム側職員、家族を構成員と、2ヶ月に1度開催している。外部評価の報告、行事予定と報告、職員の異動、事故報告などが議題となっている。家族は交代で3名が参加している。餅つき大会で、もち米だけでなく上新粉を入れてほしいとの提案が家族から出され、実現した。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ホーム便りとは別に、入居者別の近況報告を月1回、家族へ郵送している。運営推進会議に交代で家族が参加し、発言している。ユニット合同や単独行事への家族の参加が多いので、そのときに意見を聞き、運営に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	穴川神社の祭礼、区民祭り、盆踊りなどに積極的に参加している。近所の幼稚園児が持参した小豆で入居者がお手玉を作ったり、園児からの手紙が壁に飾られるなど、温かい交流を育んでいる。ほぼ毎日散歩に出かけ、おやつを買いにコンビニに出かけたり、近隣住民と日常的に交流している。

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を基に、全職員の意見を反映した各ユニット独自の理念を持っている。共通テーマは「笑顔」。あるユニットの理念は、「ひとりひとりのあふれる笑顔」となっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の申し送り時に、全職員で唱和し、日々確認している。日常のケアに反映させている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の会員になっており、回覧版も回ってくる。地域の盆踊りに参加し、椅子を勧められるなど親切にてもらっている。毎日散歩し、地域の人たちとも顔見知りである。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、リーダーは意義を認識している。結果の改善へ向け、職員も含め真剣に取り組んでいる。自己評価を全職員が取り組むには至っておらず、今後の課題と思われる。		日々のケアの見直しのため、自己評価の重要性を認識し、そのための勉強会を開くことなどが期待される。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事予定やその報告、外部評価などを議題とし、改善点などを検討している。家族が毎回3人交代で参加できるように、日曜日に開催している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の議事録を手渡ししている。市の介護相談員が月1回2名訪れ、相談に応じている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	写真入りのホーム便りを作成するとともに、請求書と一緒に入居者の近況報告を作成、家族に毎月郵送している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族が交代で参加できる仕組みを作り、意見を出せる機会を設けている。行事への参加も多いので、そのときにも意見を聞いている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は多い。求人しても応募がなく管理者は苦勞している。担当ユニットの職員を固定化するよう努め、変わる場合は時間をかけて引き継ぎしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人が運営する他のホームとの合同勉強会を月1回開催している。外部研修も希望できる。希望が多く参加できない場合もあるため、受講者は資料を回覧、情報共有を図っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	合同勉強会を活用し、問題点を出し合い、ケアの質向上に努めている。法人外の交流はあまりないが、県内の6ホームが参加する音楽セラピー発表会を開催する予定である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に職員が自宅訪問したり、見学にきてもらったり配慮している。ショートステイやデイサービスを併設している特性を活かし、徐々に馴染んでもらっている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>若い職員が多いため、人生の先輩である入居者から、梅干しの漬け方、ぬかみそ作り、浴衣の着方など、入居者の得意分野を教えてもらっている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常的な会話や個別での話し合い、夜間に入居者が眠れない時に話し相手になるなどして、把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>定期的なミーティングやカンファレンスを通して、入居者の課題を把握し、計画を作成している。家族の面会時に要望を聞き、計画に反映させている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6か月に1回の見直しのほか、毎月1回のモニタリングを実施している。変化があった場合には随時新しい計画書を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービス、ショートステイを利用した入居者が入所するなど、施設の多機能性を活かして支援している。通院の付き添いにも柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的にはかかりつけ医に受診し、定期健康診断は月1回の往診や、市の健診車で行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	往診の医師による看取りのマニュアルがあり、2名の入居者に終末期ケアを行い、ホームで看取った経験がある。要望があればショートステイの看護師の協力を得て、受け入れる体制がある。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	羞恥心への配慮や言葉かけには十分注意している。個人情報に関わる書類は、鍵のかかる書庫に保管している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールはあるが、決して強制ではなく、入居者の状態を見て、臨機応変に対応している。行動を起す時は必ず声かけし、本人の意思を確認している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	静かなユニット、賑やかなユニットと食事の風景は様々である。職員もテーブルに付きさりげなく介助している。食後は一緒に食器を片付けたり、出来る部分は入居者も行うケアを実践している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	浴室はゆったりと広く、2つ浴槽があり、仲の良い入居者が同時に入浴を楽しんでいる。週3回午後の入浴が決まりだが、希望があれば対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理、洗濯物たたみ、野菜作り、園芸、花の水やり、植木の剪定など、入居者の得意分野を活かす支援をしている。さまざまなレクリエーションも計画し、皆で楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物、月1回程度の外食、バス旅行、地域のお祭りに参加するなど、外出の機会を出来る限り多く作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ユニットのドアは施錠せず自由に行き来出来るが、玄関ドアは施錠され、エレベーターは暗証番号の入力が必要である。近くに交通量の激しい道路があり、安全性を最優先にして欲しいとの家族の要望を考慮している。		家族の要望や、ショートステイ利用者の安全確保の観点から事情は理解できる。しかし、鍵をかける弊害を話し合い、鍵をかけないケアの実現に向けた取組が期待される。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	最近、消防署による火災報知機の点検があった。避難経路の確認は行っているが、災害を想定した避難訓練などは行われていない。	○	グループホームが3、4階にあるため、定期的な避難訓練が必要と思われる。運営推進会議で地域に訓練時の協力を呼びかけるなど、早急な対策が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を作成し、食事、水分量を把握している。塩分制限が必要な場合は汁物や調味料で調整している。職員に栄養士もあり、栄養バランスは確保している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は掃除が行き届き、居心地良い空間となっている。リビングには手作りカレンダーが飾られ、畳コーナーに炬燵もある。ユニット入口や浴室に作り付けベンチが設置され、広いベランダには季節の花々が咲き誇っていた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の表札は写真入りで、誕生花のちぎり絵と花言葉が添えられている。居室のドアはユニット毎に色で区別され、部屋には使い慣れた家具が持ち込まれ、安心して過ごせる配慮が感じられる。		